

東日本大震災から1年

毎日に感謝しながらピアノ伴奏に精を出します

雪解けて・・・ 梅は咲いたか？ 桜はまだかいな
♪トントンでシャン♪

さわごえ君 第17話
「さくらの気持ち」



うた徒然
No.2

さわうたで歌われているいちばん古い歌②
100年以上前に作られた歌を受け継ぐ

さわうた抒情歌には 明治時代以前の曲が31曲

さわうたで歌われているいちばん古い曲はなんだろうかと思って調べ始めた。なんと古い曲がぞろぞろ。はっきり明治時代に作られたと確定できる曲は17曲。明治政府の学校教育制度が整備されるのに伴って、明治10年代になると「尋常小学読本唱歌」などの歌の教科書が出来上がったが、学校で子どもたちが歌うことによって次第に社会に広まってきたわけだ。

さわうたのレパートリーでは明治17年「仰げば尊し」、「庭の干草」から10年ぐらいの間で「埴生の宿」、「家路」と続く。なんと、これ、みんな外国曲。子どもの頃の卒業式の定番だった「仰げば尊し」はもとはスコットランド民謡と伝えられるので、そうか、「富国強兵」で欧米列強に肩を並べるのに躍りになっていた明治政府は、文化も西洋から持ち込んできたというわけだ。

さわうたレパートリーで日本人作詞作曲の歌が出てくるのは明治29年「夏は来ぬ」（佐佐木信綱作詞、小山作之助作曲）が最初で、つづいて瀧廉太郎が登場。明治33年「花」（武島羽衣作詞）、翌年「荒城の月」（土井晩翠作詞）発表となる。これが西洋音楽の日本文化への定着をうながし、明治43年からは今度は日本人作詞作曲の曲だけ採用された「文部省唱歌」が出来上がる。

さわうたのお客様は いまや無形文化財クラス

「荒城の月」が作られて111年。こんな古い曲を生きいきと歌える人は今じゃさわうたのお客さんぐらいになってしまった。こりゃ、無形文化財的な価値ありそう。

さて、問題は表題の「さわうたで歌われているいちばん古い歌」はなに？

明治以前から歌われていた曲は14曲あるのだが、それがいつごろ作られたのか分からない！ さあ、どうする？

見るだけ



一年前は

騒ぐだけ？



二年前までは

どちらが



お好みか？



ゆるゆるサロン第7回 ゲスト/菅野淳史&乾亜都夫

3月25日(日) 昼の部 14時～ 夜の部 18時～ 3,000円 (詳細別紙)

プチ・ボイトレ 第9回 講師：斎藤敦子

3月29日(木) 13:30～15:30 1,000円 誰でも1回だけでも参加歓迎

決定!! 第9回独唱会 4月24日(火) & 26日(木)

今回も鈴木不尽子(vn) & セキシュウ(pf)のコンビです

くさわうたカレンダー>

太い数字=さわうた

..... =ふりうた

○ =プチコーラス

♡ =プチ・ボイトレ

⊙ =ゆるゆるサロン

□ =AMANEライブ

2012 (H24) 年		3/4～3/31				
日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31